

PROFILE SHEET

氏名 善井 靖 (よしい やすし)

所属 well f.m.一般社団法人

役職 ファウンダー・理事

専門 海外マーケティング、地域連携、ブランド化、その他（DMC組成、体験コンテンツ開発、インバウンド誘客プログラム開発）

活動地域 全国、東アジア、デンマーク、フィンランド

自己紹介
○内閣府「地域活性化伝道師」・内閣府「クールジャパンプロデューサー」・総務省「地域力創造アドバイザー」・観光庁「広域観光圏専門家」「世界水準のDMO専門家」・農水省「農泊地域専門家」
○秋田県秋田市・三種町・能代市・男鹿市観光・山形県長井市・群馬県富岡市・山梨県市川三郷町アドバイザー(歴任)・長野県松本市アドバイザー、沖縄県南城市アドバイザー(現在)◎アントラージュホームタウンDMO(茨城県鹿行地区5市)アドバイザー、茨城県古河市DMC推進アドバイザー、茨城県DMO推進アドバイザー、大阪府羽曳野市DMO推進アドバイザー、秋田県男鹿市DMOアドバイザー(歴任)
◎環境省・松本高山Big Bridge構想全体ファシリテーター(歴任)○富士ゼロックス、電通、オムロン等地方創生アドバイザー他民間事業者の地方創生事業戦略担当(歴任)

2004年新潟県佐渡観光立て直し事業「佐渡百選」の企画運営に携わり、故郷佐渡島の危機的状態を認識し、民間が主導する佐渡活性化活動に着手。2005年、野口健佐渡環境学校を招聘し、事業主体社として活動開始。2005年、お笑い芸人を半年間佐渡に滞在させ、ネット動画とblogで佐渡情報を毎日発信する「佐渡、お笑い島計画」をスタート。07年「佐渡、お笑い島計画」は、google検索で吉本興業を抜く人気コンテンツとなり、民間主導の地域情報発信に新たな手法を確立する。

08年からは「地域に手厚い」国家施策を組み取り、地域を元気にさせる活動を推進。山形県長井市、秋田県男鹿市等において「日本版DMO」形成のアドバイザーを務め、行政職員、市民とともに、自律自走する「観光まちづくり」の実践を行っている。

実績
16年からは、茨城県鹿行DMOアドバイザーを務め、鹿行地域の魅力を生かした新たな観光ブランドの創出や交流人口を増やすために、地域全体の観光マネジメントを一本化する目的で、茨城県鹿行地区の5市（鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市）を中心に「アントラージュホームタウンDMO」を設立した。日本で初めて、プロ球団が参加したDMOとして注目を集めている。

17年には、観光庁後援の「観光マーケティング実務責任者養成講座」を開発し、DMOの為のマーケティング責任者の養成を展開している。また、メジャーリーガーの大谷翔平選手やラグビーの五郎丸歩選手らが飛躍するきっかけとなった目標達成のメソッド「原田メソッド」認定パートナーの資格を持ち、観光再生に向かう自治体・DMO職員に対して「成功は技術である」を普及啓蒙している。
2021年環境省中部山岳国立公園・松本高山Big Bridge構想の全体ファシリテーター役として、松本から高山市一帯の40近い団体の意見取りまとめと戦略策定のリーダーを担当する。22年3月、大学教授、ウェルネスツーリズム実践者、アドベンチャーツーリズム実践者、管理栄養士、温泉療養士、内閣府地域活性化伝道師、メディア編集者等の理事で構成される「ウェルネス」及び「ウェルネスツーリズム」の普及に特化した企画会社、well f.m.一般社団法人設立。顧問をウェルネス研究、ウェルネスツーリズム研究の第一人者である荒川 雅志氏(国立大学法人琉球大学 国際地域創造学部／観光科学研究科 教授・医学博士)が務めまる。23年能登半島 なのおなかのとDMOと連携し、デンマークを中心とした北欧からの誘客事業を成功させる。

Web
www.wellnesstourism.co.jp
https://note.com/wellnesstourism/
https://note.com/yoshiiyasushi/n/n90b7c652dd10

連絡先 1st[アットマーク]wellnesstourism.co.jp

